

石巻小学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

- ・「郷土への思いをもち、郷土を愛し、よりよくしていこうと歩み続ける子」の育成をめざし取り組んだ。
- ・なぎの木学習（生活科・総合的な学習）および、特別活動（伝統的な行事：野外劇）を柱に、地域で学ぶ・地域を学ぶ・地域から学ぶ活動（郷土学習）を展開し、「防災」「歴史文化」「人権・平和・命」について、学びを深め心を育んだ。

・活動の実際

「地域から学ぶ」「郷土学習」（3・4年）

3年生は校区探検から、石巻には柿畑がたくさんあることに気づき、柿農家の方の協力のもと、次郎柿について学んだ。「セミドライ柿」を作ることに挑戦し、「石巻の自慢である次郎柿を、これからも大切にしていきたい」という思いを高めた。4年生は、東頭神社のお囃子体験をしたり、石巻山は珍しいマイマイが生育する貴重な山であることを学んだりする中で、石巻の町をさらに愛する気持ちを育んだ。



「地域と共に学ぶ防災学習」（全校）

毎年6月に、地域の方の協力のもと、全校で防災について考える授業を行っている。本年度から、低学年も消火器体験を行ったり、高学年は体育館で避難所の体験を行ったり、多くの防災体験をすることができた。昼食は非常食体験として、6年生が備蓄カレーを準備し、各学級で防災について考えながら味わった。また、防災に関わる授業参観も行い、親子で生活を見直したり、準備したりする時間をもつ大切さに気づくことができた。



「歴史文化」「人権・平和・命」（全校児童）

野外劇『だいだらぼち』

郷土に伝わる民話をもとに創作された野外劇三部作から、令和6年度は『だいだらぼち』を上演した。本年度のテーマは「共生」。差別や偏見をもたず、個性を認め合い、対等な立場で人とかわり会ふことの大切さを伝える内容である。

野外劇上演は、40年以上続く伝統行事である。地域のお年寄りや本校を卒業し自身も出演経験のある保護者をはじめ、毎年多くの方が楽しみにしてくださっている。

